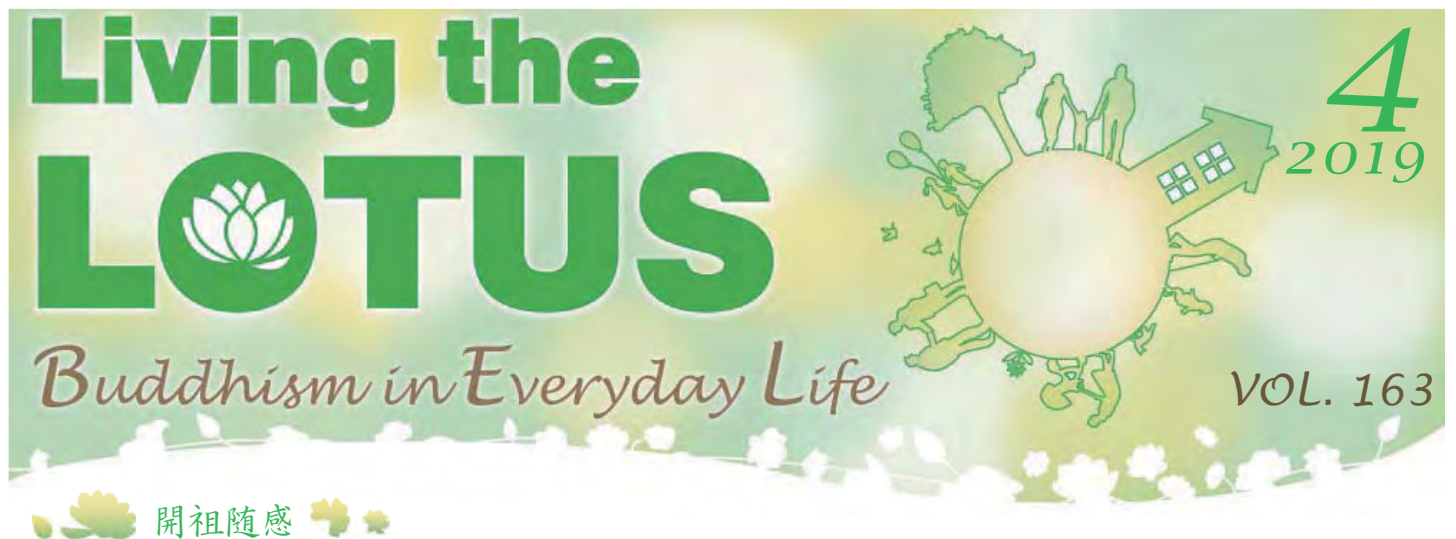




人の弱さを知る人

イエスさまには、十二使徒と呼ばれるすぐれたお弟子さんがおられました。そのお弟子たちが、イエスさまが捕らえられたときに、「あんな人は知らない」と師を見捨てるのです。けれども、十字架にかけられて一度命絶えられたイエスさまが復活され、弟子たちの裏切りを知らながらそれを責めない姿に接して、お弟子たちが生まれ変わります。命がけで教^{ごんにち}えを広めて、イエスさまの教^{ごんにち}えが今日に伝えられたのです。

イエスさまは、人がどんなに弱いものか知り尽くされて、それを許され、温かく包み込まれる方でした。自分の弱さも過ちもすべて知って、それを許し受け入れてくれる人に出会ったとき、人は、「この人に自

分のすべてをおまかせして、なんの悔いもない」と、生き方が百八十度転換してしまうのです。

私たち仏教徒にとって、すべてを受け入れ、抱えてくださるのは仏さまです。その仏さまのみ心を体して、三十三身を現じて救いを求める人のところへ現われ、手を差し伸べてくださるのが観音さまです。そのお慈悲に包まれて、私たちも観音さまのようになりたいと一心に努力していくと、^{ふじしゃくしんみょう}不自惜身命で教えを広めてくださる人が、あとからあとから生まれてきます。

(『開祖随感』9, p. 146-147)

Living the Lotus 2019年4月号 (Vol.163)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

香る風のような人に

立正佼成会会長 庭野日鑛



心に香風が吹きわたる

日本の春の情景を美しく表現した歌の一つに、滝廉太郎作曲による「花」があります。「春のうらの……」で始まる、みなさんもよくご存じの歌です。その春の花の代表格は桜ですが、桜の花を見るよりも先に、梅や沈丁花や辛夷の甘い香りをのせた風に、春が訪れた喜びを実感する人も多いのではないのでしょうか。

その喜びにも通じる言葉が、法華経の「序品」にあります。「栴檀の香風衆の心を悦可す」——この一節を開祖さまは、「仏さまの香風が衆生の心の中に入ってくると大歡喜が生じる」と、簡潔に説明しています。

仏の教えに出会えた私たちは、その教えを聞き、学び、実践していくなかで、数々の気づきを得ます。いやだと思っていた人やものごとに感謝ができるようになったり、それまで幸せだと感じていたことは自己中心の思いにすぎなかったと気づいたりして、生き方が変わるのです。

そうしてほんとうに大切なことに気づき、悩みや苦しみから解放された喜びを、私たちは「教えによって救われました」と、思わず口にします。それが、開祖さまのいう「大歡喜が生じる」でしょうし、そのときその人は「悦可」しているのです。ちなみに「悦」という字は、心のわだかまりをとり去る喜びを意味します。

私たちは、仏さまにお目にかかることはできません。ただ、たとえば本会の大聖堂などで、教えのなかに仏の慈悲を感じとり、その教えを実践することによって生きる喜びに目ざめた人の体験説法を聞くと、私たちもまた喜びを覚えます。それは、「栴檀の香風 衆の心を悦可す」の経文どおり、教えの尊さが胸中に吹きわたるからだと思います。釈尊がおられた時代もいまも、それは変わらないのです。





みんな「徳のある人」

越後の良寛^{りょうかん}さんは、この「梅檀の香風 衆の心を悦可す」に学んだのでしょう、「一生成香^{いっしょうせいこう}」（一生、香りを成す）を座右の銘にしたといわれます。「生涯、人の心をあたたかく包み、和ませ、悦びを与える香風のような人でありつづけよう」と思い定めて、そのとおりに生きたということです。

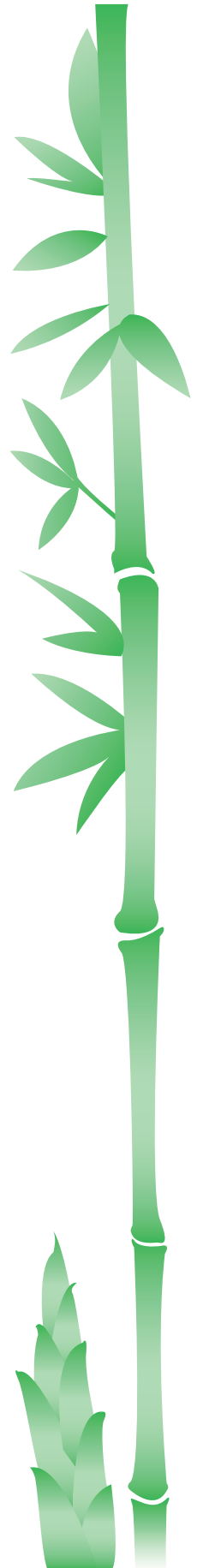
ただ、法句経^{ほっくぎょう}に「徳のある人びとの香りは風に逆らっても進んでいく」「徳のある人はすべての方向に香る」とあるように、人の心を「悦可」するには「徳分」が必要という見方もできそうです。よく「私には徳がない」とか「あの人には徳がある」といったりしますが、修養^{しゅよう}や善行^{ぜんこう}の積み重ねが「徳分」を身につける決め手なのかもしれません。

しかし、私は、そっくりきれないとも思うのです。私たちがいま、この世に一つの命^{いのち}を授かって生きているというのは、大自然の徳はもちろん、先祖や親の徳をいただいているからです。一人ひとりが、すでに豊かな徳^{とく}を具えているということです。ですから、私たちは自らの「徳分^{とくぶん}」に気づけばいいだけです。気づいて、それを成長させれば、だれもが香風を運ぶ「徳のある人」になるのです。

そこで大切なのは、「有り難い」という気持ちです。なにごとにも感謝を忘れない素直で謙虚な人には、自然に人が引き寄せられます。そのうえで示す、明るく、やさしく、あたたかい態度や言葉は、持ち前の徳をいっそう香らせることでしょう。思いやりをもって和やかにふれあうそこに、教えの香^{かぐわ}しい風が吹きわたり、それが人を憩^{いこ}わせるのです。

釈尊^{しやくたんづき}の降誕月であるこの四月をもって、平成が改元されるといわれます。これは、平和^{へいぜい}を醸成する務めがマンネリに陥らないよう、心を新たに切り替える機会をいただいたものと、私は受けとめています。仏の教えという香風を運ぶ生き方が、いっそう大切になります。

（『佼成』2019年4月号）





家庭教育講座で学んだ思いやりの心



バンコク教会
マユリー・ムックダートーン

この体験説法は、2019年1月13日、バンコク教会で会員相互の親睦を深めるために行なわれたフレンドシップデーで発表されたものです。

本日は体験説法のお役をいただき、誠にありがとうございます。

私は1967年1月29日、シーマンダークン家の長女として生まれました。両親と妹の4人家族で、中国系タイ人の父と、日本人の母の家庭で育ちました。

私が立正佼成会とのご縁をいただいたのは、バンコクで仕事をされていた日本人会員で、最初にタイに佼成会の教えを伝えてくださった黒川さんに母が導かれ、その後、母と一緒に当時のバンコク連絡所に行くようになったときが最初でした。

バンコクの高校を卒業後、当時連絡所を訪れていた鳥取教会の月岡淑江教会長さんに勧められ、学林の女子専修科(当時)に入林しました。1年8ヶ月の在林期間中、法華経研修や教会実習等を経験し、卒林後は日本の大学に進学しました。大学在学中

は学林予科(当時)にも在籍し、4年間お世話になりました。

大学卒業後タイに帰国し、日系企業に1年間勤めました。その後、日本の大学院に進学し、そこで現在の主人と出会いました。そして、2004年に結婚、2年後には娘を授かるお手配をいただきました。

その頃私は、タイ語と日本語間の通訳として、何度か立正佼成会の東京家庭教育研究所がバンコク教会で開いていた家庭教育の講演会に参加する機会をいただきました。お役を通して家庭教育の教えに触れてはいたものの、娘が生まれる以前は、特にその意義を意識したことはありませんでした。しかし、自分が母親になったことで、娘には人間らしい、思いやりにあふれた人に成長してほしいと思うようになり、それから家庭教育を真剣に勉強するようになりました。

家庭教育—子どもに学ぶ家庭教育—の原理は、「親が変われば子どもが変わる」という標語に表われているように、「子どもに変わってほしいと思うならば、まず親が変わりましょう」と、子育てに関する親の勉強や実践を促す教えです。

私は今、娘の姿を通して、娘に対する自分自身の心やものの見方、考え方をどう変えていけばいいかを学ばせていただいています。

娘は現在、フィギュアスケートを習っています。アクセルジャンプ(ジャンプして空中で1回転半回った後に着氷する)の練習を始めてから、1年半かけてやっと跳べるようになりました。しかし、ある日、突然ジャンプができなくなってしまったのです。何があったのかわか



バンコク教会で説法するマユリーさん

らず、本人もたいへんショックを受けていました。口にはしませんでした。が、とても辛そうでした。私も「なぜ？」という疑問しかありませんでした。

スケートを習っている子どもには、一度覚えたジャンプがまたできなくなってしまうことがあるそうです。娘の場合、ジャンプに対してそれまで感じたことのない恐怖心が生まれ、ジャンプしようとしてもできなくなってしまうようです。最初は私も、「大丈夫、一回できたことはまたできるよ」と励ましていましたが、いつまで経っても一向にできる気配はありません。そこで、「怖いのならもうスケートをやめる?」「やめて、また違うことをやってみるのもいいかもしれないね」と言ってみました。娘は「いや、絶対にやめない。できるまでやる」と譲りませんでした。私はレッスン料のこずきを出して、「でも、いつまでも同じことばかりやっていると、それだけお金もかかるのよ」と言いましたが、娘は決してやめようとはしませんでした。

このことを家庭教育の講師さんにご相談させていただくと、「親から『やめる?』と聞くことはせずに、自分でどうするか決めるまで待ちましょう。娘さんのあきらめない心が大切なんですね。レッスン料は、決してあきらめない忍耐力を買っていると思えばいいでしょう。娘さんは、きっとまたできるようになりますよ」と言ってくれました。しかし、私はその言葉にすぐには納得できず、レッスン料のことも頭から離れませんでした。そんな私に講師さんは、「お金に執着する人は布施をする」といいと教えてもらいましたよ。お布施することで執着心が消えて、心が広がるそうですよ。あなたもお布施してみてもいいですか?」と勧めてくださいました。そこで、まず私自身のレッスン料に対する執着心を捨てることから始めようと、僅かながらお布施させていただきました。

思えば、娘はスケートがあまり得意ではありませんでした。そのため、同年代の友達や年下の子にどんど

ん追い抜かれていました。しかし、娘はめげずにコツコツと、一生懸命練習に励んでいました。私は、そんな娘に対して「みんなできるのに、なんでできないの。やりたくないのならやめなさい」などと、ひどい言葉を浴びせていました。それでも、娘はあきらめずに一生懸命、ひたすら練習を続けていました。その一方で、私は家庭教育を学んでいたにもかかわらず、自分自身をしっかりと見つめようとしていませんでした。

しかし、そんな私でも家庭教育を学んでいくうちに、いつしか、今回の娘に起きた現象は、娘ではなく、私自身の心に原因があったのではないかと思えるようになりました。娘が感じていた、まわりの子どもたちに追い抜かれていく切なさや悔しさ、辛さを心から理解してあげようとしなかった自分。様々な思いを抱えながらも、あきらめずに努力し続けている娘を、心から認めて褒めてあげられなかった自分。娘のことを信じ切れず、悲観的な考え方で娘に接し、娘を思い通りにしようとしていた自分。私の中にそうした自己中心の心があることが徐々に見えてきました。

そのことに気づかせていただき、私は自分本意の見方や考え方を改めたいと思うようになりました。そして、娘の切なさや辛さに共感し、一生懸命努力していることを認め、娘の可能性を信じ切るよう常に心がけています。

娘のジャンプは、まだ完璧ではありませんが、ジャンプしようとする意欲、恐怖心に打ち勝とうとする前向きな姿勢が徐々に目にとまるようになってきました。そして、全くできなくなっていたアクセルジャンプが、たった数回ですが、きちんと一回転半跳んで、失敗することなく着氷できるようになったのです。娘のジャンプはできたり、できなかったりの繰り返しですが、それを見て、私自身の心の動きによく似ていることに気づきました。私の心も娘のジャンプも、安定・定着するまでは、修行や練習を重ねていかなければなりません。

いつも明るく、優しく、温かい心で娘を見守っていただけるように日々心がけてまいりたいと思います。

私は昨年10月、教師資格を拝受しました。ありがたいお手配に心から感謝申し上げます。

教師資格拝受のために日本に滞在していた4日間、様々なご縁を通して自分自身を振り返る機会がありました。東京家庭教育研究所の矢部所長さんから、教師授与式が行なわれる10月20日は、私を学林に推薦してくださった月岡教会長の月命日だと教えていただきました。また、授与式の前に布教実習でお世話になった新宿教会には、初めて私に家庭教育の大切さを教えてくださった東京家庭教育研究所元所長の丸山講師さんがいらっしゃることをお聞きしました。

さらに、教師授与式の唱題修行でお題目を唱えているとき、佼成会に入会して心がとても安らかになった母の姿を見て「立正佼成会の教えは間違いない」と思い、学林行きを決心したことを思い出しました。母は後ろ姿で私を導いてくれました。それに比べて、いまだに主人や娘を後ろ姿で導くことのできない自分を顧みて、母の偉大さをあらためて感じました。



バンコク教会で家庭教育講演会の打ち合わせをするマヌリーさん(左)

これまでにいただいたご縁を振り返ってみると、私の転換期には必ずご法に導いてくれた方がいたことに気づかせていただきました。

バンコク教会では、本年2019年から家庭教育講師養成講座が始まります。そして、私はこの養成講座の講師の大役をいただきました。私にとってはご法の道への新たな出発です。そうした機会に、母や月岡教会長さん、そして丸山講師さんからいただいた指導に気づけたことは、心新たにご法の道を歩き始めるための第一歩のように思えました。

当初、私は教師資格をいただいた後も家庭教育だけに専念しようと考えていました。しかし、日本滞在の最終日に、丸山講師さんからご指導をいただく機会があり、家庭教育で教えていただいた内容は、仏さま、開祖さまの教えと全く同じであり、切り離せないものだということを、しっかりと理解することができました。そして、多くの人々に家庭教育のすばらしさを広めていこうとするのであれば、私自身がご法を正しく理解・実践し、その上で家庭教育をお伝えしていくことが大切であることを教えていただいたのです。

教師授与式を終えてタイに帰国した後、ある出来事によって、私には「寛大さ」や「慈悲心」がまだまだ足りないことに気づかされました。それは、家庭教育を進めていく上で、大切なことを教えていただく機会になりました。

佼成会の教えを通して私は3つの大切なことに気づかせていただきました。一つめは、ご法に導いてくださった方々への感謝を忘れないこと。二つめは、ご法を正しく理解し、実践すること。そして三つめは、寛大さ、慈悲心をもって人に接することです。

この3つを実践目標にして、講師という大役を精一杯果たしていくことをここにお誓いし、本日の説法に代えさせていただきます。

皆さま、ご清聴ありがとうございました。

Living the LOTUS

A stylized green lotus flower graphic is positioned behind the text. It features several large, rounded petals in a light green shade, with a darker green outline. The flower is oriented towards the right, with its base at the bottom left.

法華三部經

各品のあらましと要点

妙法蓮華經

化城諭品第七 (1)

《譬諭品》《信解品》《藥草諭品》では、主として譬えによって仏と仏法のすがたとはたらきが示されましたが、それでもよく分からない人のために、この《化城諭品》から《授学無学人記品第九》までには、主として過去世からの因縁をお説きになるのです。

《化城諭品》には、仏弟子たちの現世における修行を励まし、未来世における成仏を確信させるために、過去世から仏さまと深い因縁でつながれていることをお説きになるのですが、それはつまり、仏法が永久不変なこと、すべての衆生は仏性をもつものであること、従って、すべての衆生がいつかは仏の境地に達することができるものであることを教えられているのです。

大通智勝如来の故事

先ず、遙かな大昔、われわれの頭では考えられぬほどの大昔に、大通智勝如来という仏さまがおられたことから、お話は始まります。その仏さまがまだ出家される前はある国の王子で、すでに十六人のお子さまがあり、長子を智積といいました。智積とその弟たちは、自分たちが小さい頃出家された父が、遠い国で長いあいだ修行された後、仏の悟りを得られたことを聞いて、自分たちも父上のもとで修行しようと決心し、涙を流す母や叔母などに見送られて旅立つのです。さらに、その祖父すなわち大通智勝仏の父にあたる徳の高い王さま

も、大勢の大臣や人民たちを引き連れて、大通智勝仏の所へまいります。

そして、父の王は「仏さまは、もとはわれわれと一緒に生活された凡夫でしたのに、衆生を救うためにかぎりない年月修行をかさねられ、ここに仏となられました。それを拝しますと、われわれも仏になれる可能性のあることが分かりまして、これほどうれしいことはございません。どうかわれわれのために法をお説きください」とお願いします。続いて十六人の王子たちも、熱心をお願いするのです。

すると、大通智勝仏は、そこに集まっていた大勢の人たちに、「この十六人の菩薩沙弥たちは、過去世から多くの仏を供養し、そのもとで修行し、いつも妙法蓮華という教えを衆生に説いて無数の人びとを教化しました。その人びとは、一度だけの人生ではなく、なんと生まれ変わっても自分を教化してくださった菩薩と一緒に生まれ、その教えを聞いて、すっかり信解するようになりました」と説かれたのです。



娑婆世界の仏 釈迦牟尼如来

以上のような昔のお話をなさったお釈迦さまは、あらたまった口調で「皆さん、いま大事なことを話しますから、しっかり聞くのですよ。その十六人の菩薩は、後に仏となって、現在でも十方の国土で法を説いておられるのです」とおおせられ、その仏さまの名と、教化を受け持つておられる国土の名をあげられるのですが、その十六番目をご自分すなわち釈迦牟尼仏であり、娑婆国土で悟りをひらき、娑婆国土の教化を受け持つておられるということと、過去世に妙法蓮華の教えによって教化した衆生たちこそ、いまのお弟子たち及び未来世の信者たち（つまり現在のわれわれ）にほかならないことを、お明かしになります。

そして、次のようにお説きになるのです。

「皆さん。仏（人間としての仏）は、いつまでもこの世に存在するものではありません。すっかり自分の教えを説いてしまえば、しばらくこの世から離れるものですが、その際に、大勢の人たちが仏の教えに対する信解が固く、人間平等の真理がよく分かり、心がしっかり決定しているようであれば、この妙法蓮華の教えを説いてあげるのです。過去世でもそうしたように、現世でもこうしていま説きつつあるのです」

「世間に、真の悟りを得る道が二つあるものではありません。ただ一つ妙法蓮華の教えがあるのみです。しかし、如来の方便（指導の実際的手段）は、深く衆生の性質や機根を知り分けて行なわれるのです。まだ五官の欲にとらわれて、みずから苦しみを招いている人もいますので、そういう人た

ちのために、とりあえず迷いを除いて、心に安心を得るように導いてあげるのです。このことを、譬え話で説明してみましょう」

ここで、法華七論の第四である、〈化城宝処の譬え〉が説かれます。次のような話です。

化城宝処の譬え

ある所に、非常に長く険しい、目的地に到達するには困難な道がありました。その道は遠く人里離れて通っており、わるい獣などが出没して、まことに恐ろしい所です。ところが、この険しい道を、珍しい宝を求めて旅を続ける、大勢の人がいました。その中に、一人のリーダーがいて、その人は智慧もすぐれ、物事に明るく、この道がどうなっているかを、先の先までよく知っていました。



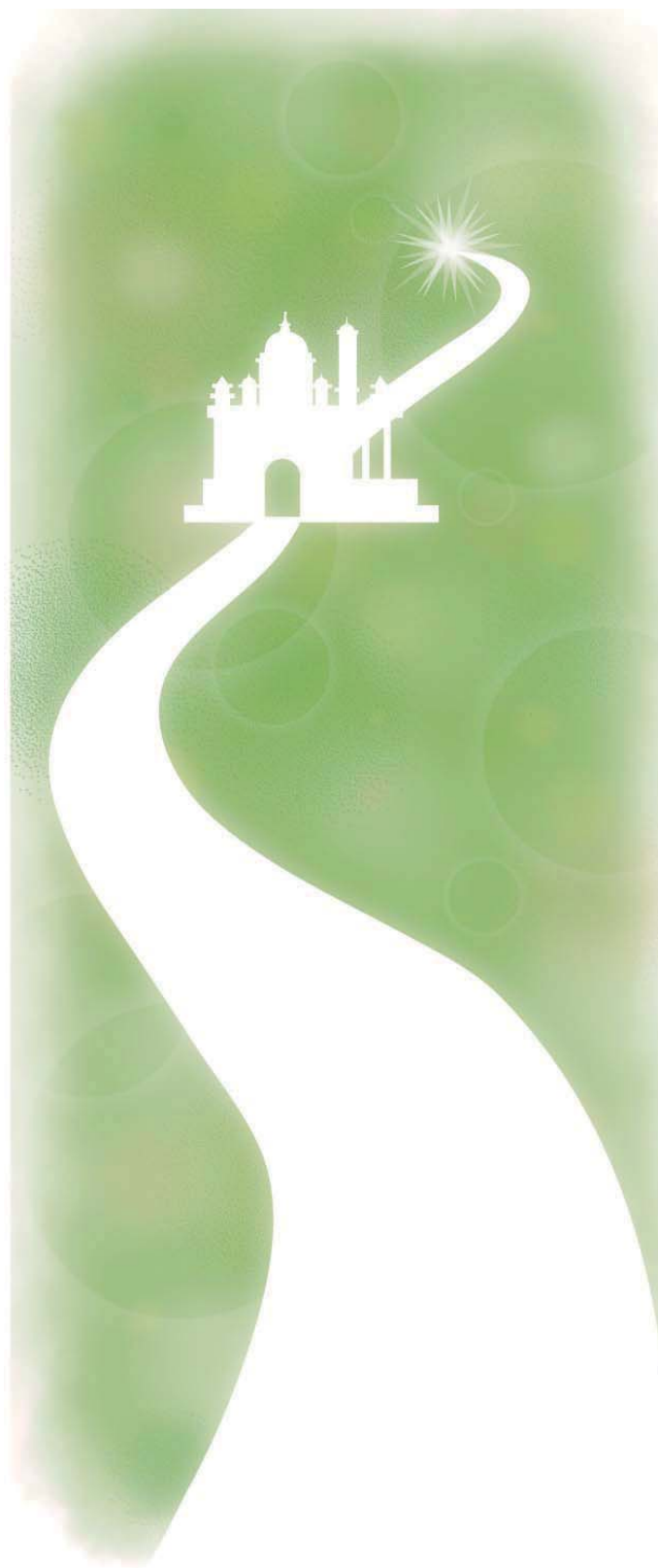
一行の中には、足の弱い人もあれば、根気のない人もいて、途中ですっかり疲れはててしまい、リーダーに向かって「わたくしたちは、くたびれきってしまいました。それに、この道はなんだか恐ろしくて、もうこれ以上、進む気にはなれません。先はまだ遠いことですし、いまから引き返したいのです」といいだしました。

このリーダーは、時と場合に応じて適切に人びとを導く方法（方便）をよく知っていましたので、心の中で——ああ、かわいそうな人たちだ。どうして、もうひと息のところにある大きな宝をあきらめて、引き返そうとするのだろう。もう少しの辛抱なのに——と思い、方便の力をもって、その険しい道の半ばよりちょっとむこうに、一つの大きな城を幻としてあらわしたのです。そして、一同に向かって、「皆さん。もう恐れることはありません。また、引き返すこともありませんよ。あの城の中に入ってゆっくりしなさい。あの中へ入りさえすれば、すっかり安穩になります」といいました。

みんなは大喜びでその中に入って休息しました。しばらくして、疲れがすっかり癒えたのを見ましたリーダーは、その幻の城を消してしまい、「さあ、ゆきましょう。宝のある場所はもうすぐそこです。いままでここにあった城は、実はわたしが仮につくったものです。ここでひと休みして、心を取り直させるための方便だったのです」

こうして一同を励まし、さらに宝のある場所へと導き続けたのでした。

（庭野日敬著『法華三部經 各品のあらましと要点』
佼成出版社, 2016年〔初版 1991年〕, p. 74-80）



香風を運ぶ生き方

桜の咲き誇る春爛漫^{はるらんまん}の時を迎えました。4月は仏教徒にとって有り難いお釈迦さまのご生誕をお祝いする「降誕会・花まつり」^{ごうたんえ}を迎えます。

今月の会長先生のご法話でも、花の香りが人々に春の喜びを届けるように、一人ひとりが香風を放つ存在となって、人びとの心を憩^{いこ}わせるご縁になることの大切さをお示しいただきました。

そのような「徳のある人」になるために大切なことは、感謝を忘れない素直で謙虚な心です。

仏の教えという香風を運ぶ生き方が求められる今、明るく・やさしく・あたたかい態度や言葉で、思いやりをもって和やかにふれあう、そのような自分づくりをさせていただきます！

国際伝道部長

齋藤 高市

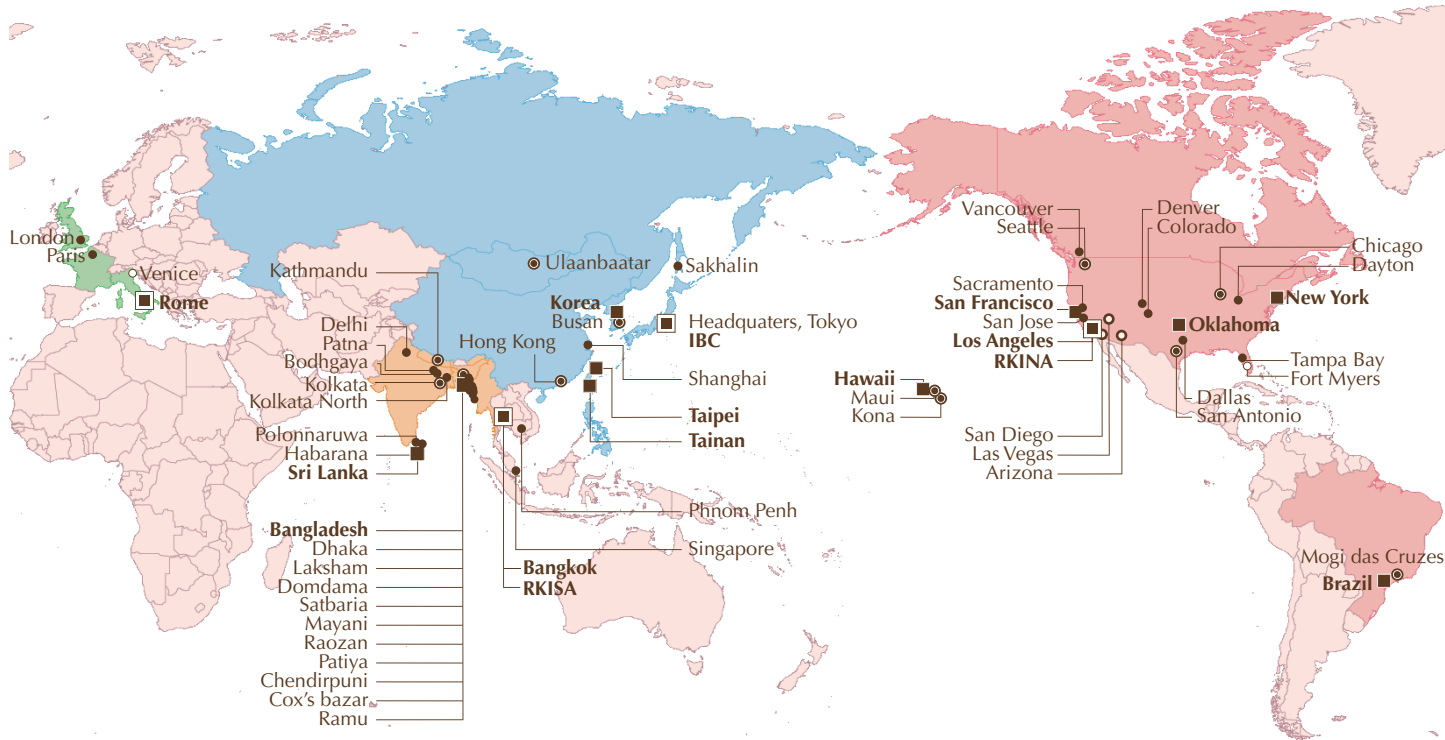


✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
 Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224
 e-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street, Suite #1, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
 Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
 e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003 U.S.A.
 Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261
 e-mail: rkseattlewashington@gmail.com
 http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
 P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, U.S.A.
 Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745
 e-mail: dharmasanantonio@gmail.com
 http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.
 Tel: (727) 560-2927 e-mail: rktampabay@yahoo.com
 http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
 Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633
 e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
 Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740 U.S.A.
 Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
 Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567
 e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
 Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437
 e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.
 Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499
 e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.
 Tel: 1-773-842-5654 e-mail: murakami4838@aol.com
 http://rkchi.org/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.
 Tel: 1-405-943-5030 Fax: 1-405-943-5303
 e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.
 Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.
 http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
 CEP 04116-060 Brasil
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377 Fax: 55-11-5549-4304
 e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
 CEP 08730-000 Brasil
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Jhongjheng District,
Taipei City 100, Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433
<http://kosei-kai.blogspot.com/>

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District,
Tainan City 701, Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420,
Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

International Buddhist Congregation (IBC)

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Branches under the Headquarters**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960 e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**Rissho Kosei-kai of South Asia Division**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur, Kathmandu,
Nepal

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Rissho Kosei-kai of Patna**Rissho Kosei-kai of Singapore****Thai Rissho Friendship Foundation**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel & Fax: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station:
Mirshari, District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Habarana

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax: 39-06-48913949 e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia****Rissho Kosei-kai of Paris**